

6 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

阿波十郎兵衛屋敷は、昭和29年に板東十郎兵衛を偲ぶ施設として一般公開され観光客に親しまれてきた。平成18年4月1日には、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷としてリニューアルし、中核拠点として本県の誇る伝統芸能である阿波人形浄瑠璃の振興と県内外の文化・観光交流を促進し、本県の文化振興に努めた。

(1) 伝統文化振興事業【経費 12,377千円】

	事業名	概要	経費(円)	収入(円)
1	阿波人形浄瑠璃芝居定期公演	年間を通じて、県内外の観光客等に対して、公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会所属の大夫、三味線、人形座による阿波人形浄瑠璃芝居を定期上演した。もって、その普及と観光振興に資した。 日時:通年 入場者数:25,806名	10,925,880	-
2	阿波十郎兵衛人形浄瑠璃まつり	阿波人形浄瑠璃芝居を中心として多くの人々に郷土芸能を楽しんでいただくとともに、十郎兵衛屋敷の定例行事として徳島の伝統文化継承や観光振興に役立てることを目的に開催した。また、木偶に実際に触れ、操り、人形の実演体験が行うことができる場や、木偶の製作過程を見学できるコーナーなども設置し、より身近に接することにより阿波人形浄瑠璃の活性化に繋がった。 日時:平成25年6月15,16日 入場者数:349名	497,989	-
3	公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会との連携による人形浄瑠璃公演	阿波人形浄瑠璃芝居を多くの人々に楽しんでいただくとともに、伝統文化継承に役立てることを目的に、公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会との共催により、開催した。また、木偶に実際に触れ、操り、人形の実演体験が行うことができる場や、木偶の製作過程を見学できるコーナーなども設置し、より身近に接することにより阿波人形浄瑠璃の活性化に繋がった。 日時:平成26年3月8,9日 入場者数:364名	157,474	-
4	人形浄瑠璃とくしま座の育成と活用	阿波十郎兵衛屋敷を活用し、元文楽座芸員による指導、及び座員による稽古を行った。また、その成果を月1回、定期公演として発表し、身近に人形浄瑠璃に親しんでもらう機会を創出した。 日時:通年	400,000	-
5	義太夫教室及び発表会	三味線奏者である竹本友和嘉師匠により、浄瑠璃経験のない初心者への講習会を実施し、終了後その成果を発表した。 日時:平成25年7月12,19,26日、8月2,9日 全5日 受講者数:16名	0	-
6	情報の収集と発信	徳島県内の人形浄瑠璃関連事業の情報を収集し、インターネット・ホームページ等で全国に向け発信することにより、阿波人形浄瑠璃芝居の一大拠点となる機能を果たした。本事業を通じて、阿波人形浄瑠璃の活性化に繋がった。 日時:通年	300,000	-

	事業名	概要	経費(円)	収入(円)
7	義太夫講習会	阿波人形浄瑠璃芝居の一層の技量充実をはかり、各種人形浄瑠璃イベントに反映させるため、文楽協会より技芸員を講師として招聘し、指導を仰いだ。 日時:平成25年8月11,12日 受講者数:21名	0	-
8	鶴澤友路師匠百寿記念 徳島門下生による 慶祝素浄瑠璃会	淡路人形浄瑠璃の「義太夫三味線」で人間国宝の鶴澤友路師匠の満100歳を祝し、徳島門下生による慶祝素浄瑠璃会を開催した。 日時:平成25年12月8日 入場者数:100名	95,600	-
	小計		12,376,943	0

(2) 展示事業

	事業名	概要	経費(円)	収入(円)
1	展示室企画展 展示コーナー展示替え	展示室や母屋を活用し、お正月やひなまつりなど季節に合わせた企画展のほか、写真展を行い、木偶や阿波人形浄瑠璃に関する展示の充実を図った。 日時:通年	0	-
	小計		0	0
	合計		12,376,943	0